

「特定の分野に係る特定技能外国人受入れに関する運用要領-ビルクリーニング分野の基準について-」の一部改正について

令和4年8月30日

「特定の分野に係る特定技能外国人受入れに関する運用要領-ビルクリーニング分野の基準について-」について、今般、下記のとおり必要な改正を行いましたので、公表します。

記

赤字が修正部分

| 通し番号 | 該当ページ(改正後) | 改正箇所 | 現行 | 改正 |
|------|------------|--|--|--|
| 1 | P.5 | 第2 特定技能外国人が有すべき技能水準 【関係規定】 分野別運用方針(抜粋) | 3 特定産業分野において求められる人材の基準に関する事項 ビルクリーニング分野において特定技能1号の在留資格で受け入れる外国人は、以下に定める試験に合格した者又はビルクリーニング分野の第2号技能実習を修了した者とする。 (1)技能水準(試験区分) 「ビルクリーニング分野特定技能1号評価試験」 (2)日本語能力水準 「国際交流基金日本語基礎テスト」又は「日本語能力試験(N4以上)」 | 3 特定産業分野において求められる人材の基準に関する事項 ビルクリーニング分野において特定技能1号の在留資格で受け入れる外国人は、以下に定める試験に合格した者又はビルクリーニング分野の第2号技能実習を修了した者とする。 (1)技能水準(試験区分) 「ビルクリーニング分野特定技能1号評価試験」 (2)日本語能力水準 ア 「国際交流基金日本語基礎テスト」又は「日本語能力試験(N4以上)」 イ そのほか、「日本語教育の参照枠」のA2相当以上の水準と認められるもの |